

災害想定の方

1 趣旨

地域防災計画策定の前提として、鹿児島県の地形・地質等の自然条件、人口・事業所等の分布状況等の社会的条件、過去の災害の発生条件等を考慮して、想定すべき災害を明らかにしておく必要がある。

2 基本的考え方

- 科学的、客観的な手法及び最新の知見を活用する。
- 鹿児島県の地域特性を踏まえるものとする。
- 災害が社会へ与える影響なども視野に入れた幅広いものとする。

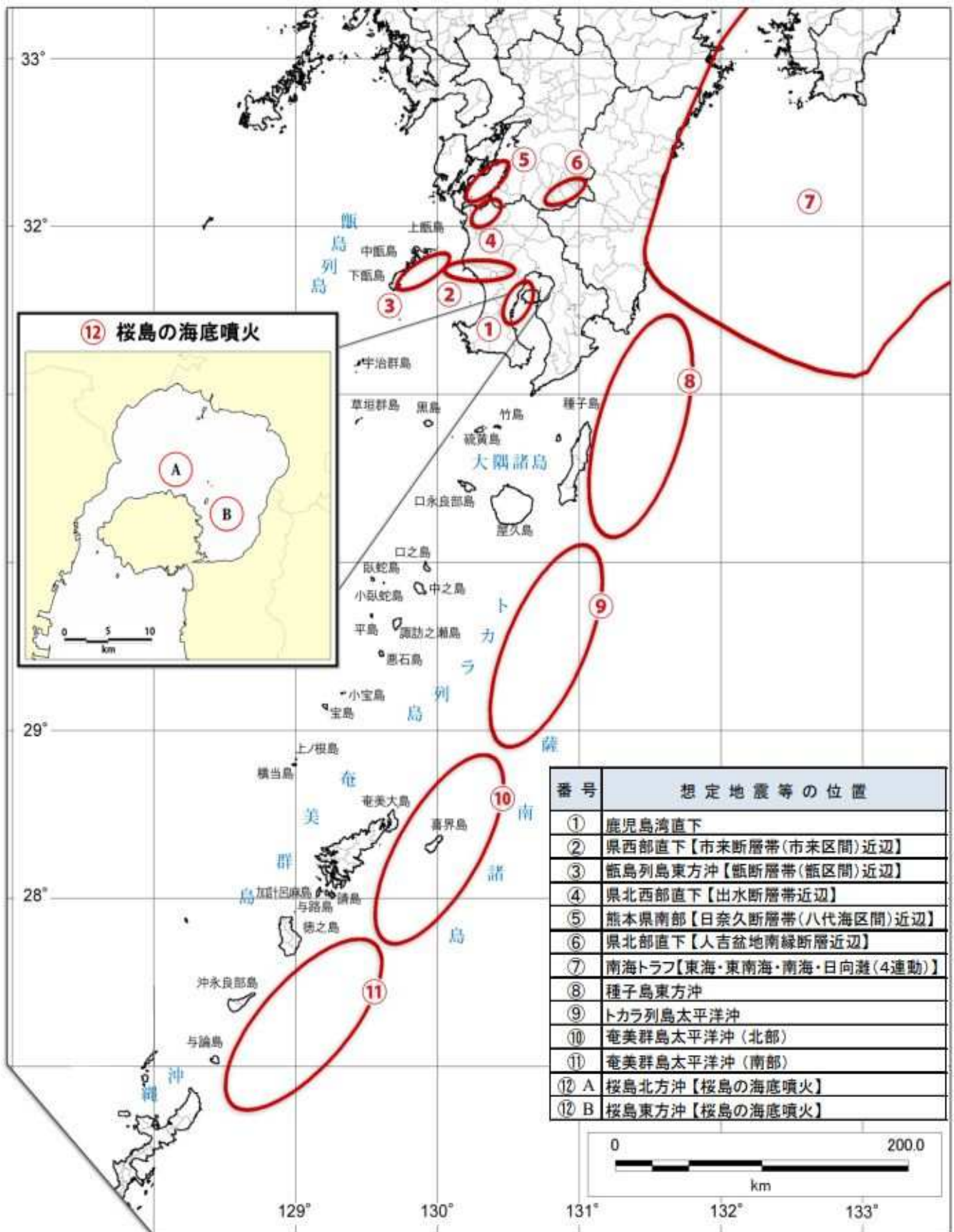
3 想定地震等の考え方

- 地域における過去最大級の地震と同レベルの地震
 - 可能な範囲で最新の科学的知見（国のデータ等）を踏まえた想定
 - 鹿児島県への影響及び地震発生の可能性を考慮（本県及び周辺地域に分布する活断層を起震断層とする地震及び海溝型地震を対象）（M7以上）
- ※ 上記以外に、各市町村直下にM6を想定

以上の考え方に基づき、地震等災害被害予測調査検討有識者会議で検討

- ※ 地域防災計画を検討する上での想定であり、必ずしも一定期間内の高い確率を前提とするものではなく、発生頻度は極めて低いものの、甚大な被害をもたらす最大クラスのものを中心に想定。

想定地震（津波）等の設定（案）（鹿児島県地震等災害被害予測調査）



想定地震（津波）等の設定（案）（鹿児島県地震等災害被害予測調査）

想定地震等

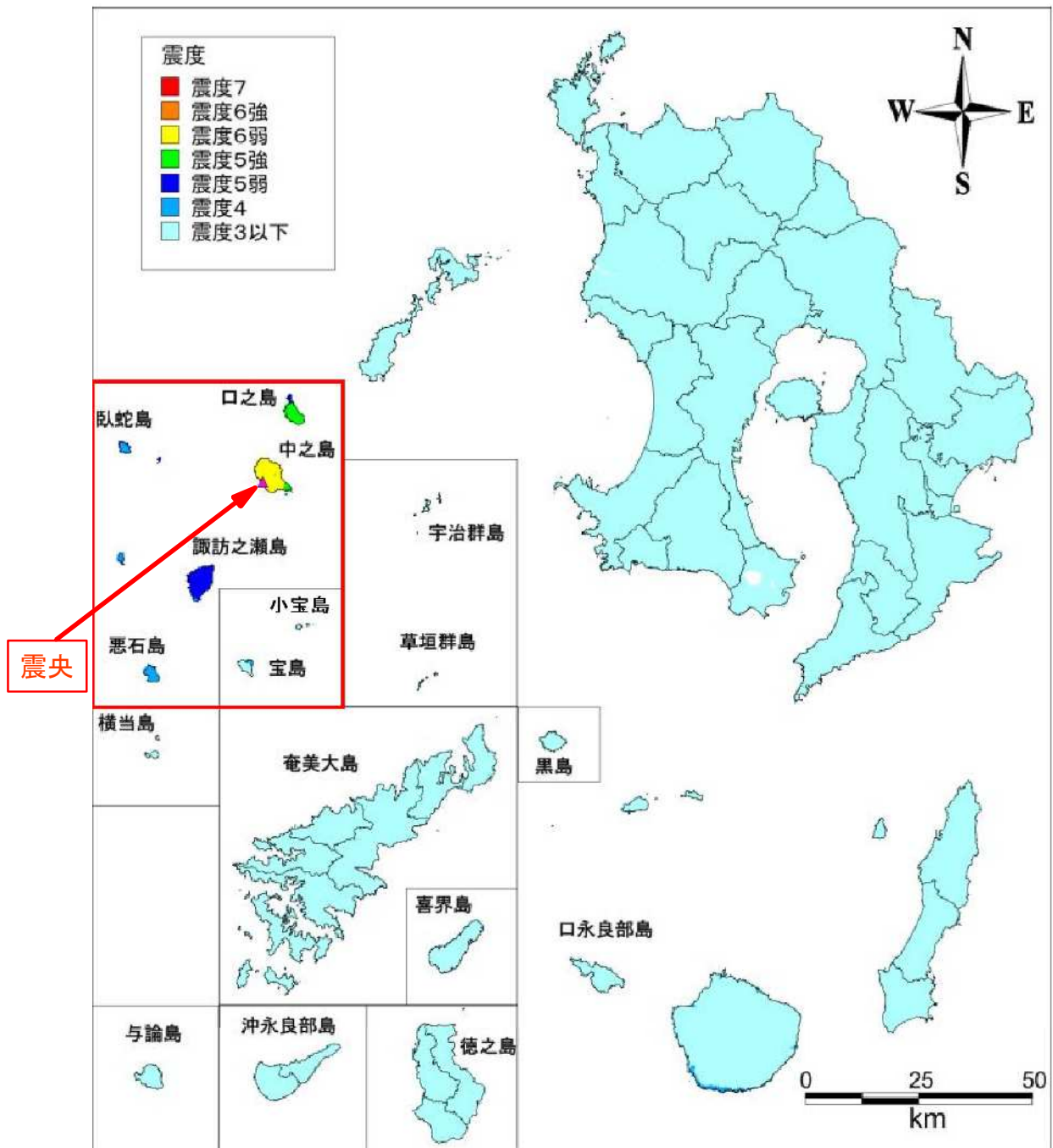
番号	現行想定				見直し想定（案）			
	地震 (11震源)	マグニチュード (M)	震源の深さ (km)	津波 (11津波)	地震 (11震源)	マグニチュード (M)	震源の深さ (km)	津波 (11津波)
①	鹿児島湾直下	7.1	3	○	鹿児島湾直下	7.1	3	○
②	県西部直下（市来断層帯近辺）	7.2	1	○	県西部直下（市来断層帯近辺）	7.2	1	○
③	甕島列島東方沖（甕断層帯近辺）	7.5	1	○	甕島列島東方沖	7.5	1	○
④	県北西部直下（出水断層帯近辺）	7.0	3	—	県北西部直下（出水断層帯近辺）	7.0	3	—
⑤	熊本県南部（日奈久断層帯近辺）	7.3	3	○	熊本県南部（日奈久断層帯近辺）	7.3	3	○
⑥	県北部直下（人吉盆地南縁断層帯近辺）	7.1	2	—	県北部直下（人吉盆地南縁断層帯近辺）	7.1	2	—
⑦	南海トラフ（東海・東南海・南海・日向灘）	9.0	10	○	南海トラフ（東海・東南海・南海・日向灘）	9.0	10	○
⑧	種子島東方沖	8.2	10	○	種子島東方沖	8.2	10	○
⑨	トカラ列島太平洋沖	8.2	10	○	トカラ列島太平洋沖	8.2	10	○
⑩	奄美群島太平洋沖（北部）	8.2	10	○	奄美群島太平洋沖（北部）	8.2	10	○
⑪	奄美群島太平洋沖（南部）	8.2	10	○	奄美群島太平洋沖（南部）	8.2	10	○
⑫A	桜島北方沖（桜島の海底噴火）	—	—	○	桜島北方沖（桜島の海底噴火）	—	—	○
⑫B	桜島東方沖（桜島の海底噴火）	—	—	○	桜島東方沖（桜島の海底噴火）	—	—	○

※ 想定地震等のほか、県内全市町村の真下にマグニチュード6クラスの地震を想定する。

（注） 詳細なパラメータ（震源（波源）の位置・深さ、マグニチュード等）については、有識者会議において審議し、最終的に決定する。

十島村における地震の想定について

(鹿児島県地震等災害被害予測調査)



令和7年6月21日からのトカラ列島近海（小宝島付近）の 地震活動について（第21号）

鹿児島県十島村（悪石島）で震度6弱を1回観測
当分の間、強い揺れを伴う地震に注意

【防災上の留意事項】

6月21日05時頃から活発となっているトカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動は、活動が始まった数日間や震度6弱を観測した頃と比べると、震度1以上を観測する地震の回数は減ってきているものの継続しています。当分の間、最大震度6弱程度の地震に注意してください。また、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているので、今後の地震活動や降雨の状況に注意してください。

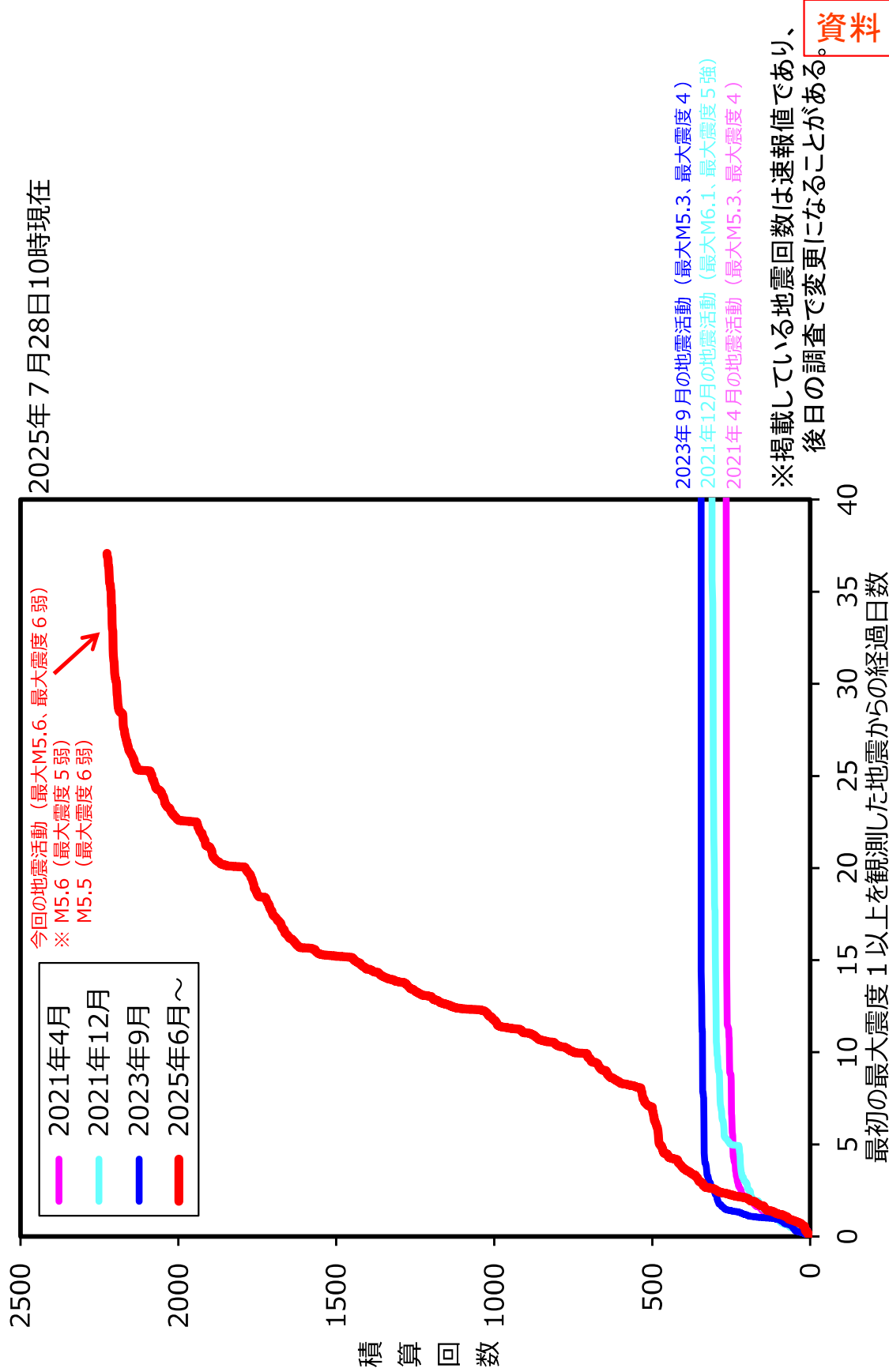
【地震活動の状況】

7月28日10時現在、最大震度1以上を観測した地震は2,226回（最大震度6弱：1回、最大震度5強：3回、最大震度5弱：4回、最大震度4：51回、最大震度3：151回、最大震度2：551回、最大震度1：1,465回）発生しています。このうち、7月3日16時13分に発生したM5.5の地震で、鹿児島県十島村（悪石島）で震度6弱を観測しました。また、最大規模の地震は7月2日15時26分に発生したM5.6の地震で、鹿児島県十島村（小宝島）で震度5弱を観測しました。

次の地震解説資料（第22号）は、8月4日（月）11時に発表予定です。
今回の地震活動に関連する情報をまとめたポータルサイトを開設しています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20250621_tokara_jishin.html

最近の主な地震活動との比較（最大震度1以上）



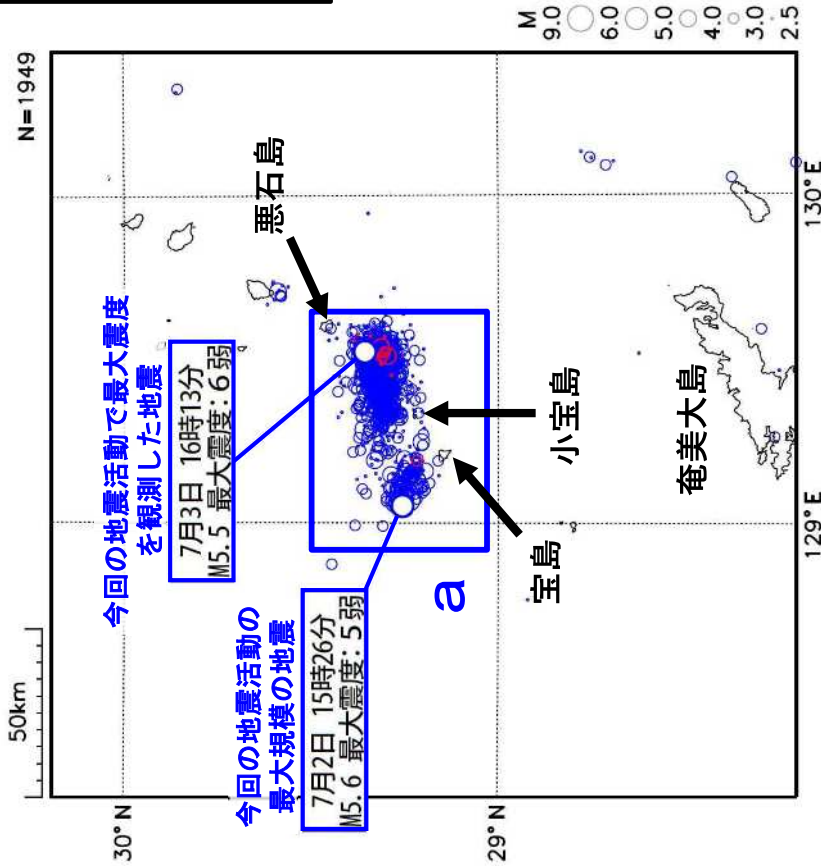
今回の地震活動における「最大震度別地震回数表」は、以下で確認できます

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/2025_06_21_tokarareto/tokarareto_jishinkaisu.pdf

※平日は1日2回（10時時点、16時時点）、土日祝日は1日1回（17時時点）更新予定です

地震活動の状況

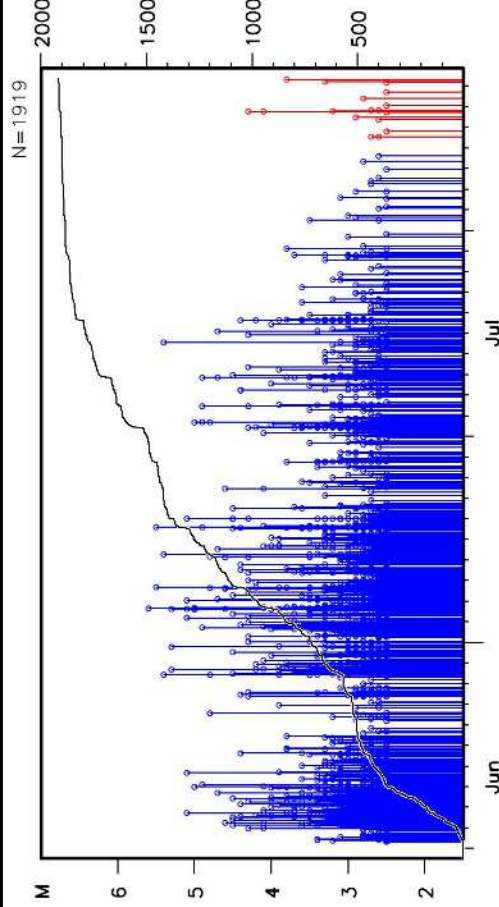
- 6月21日05時頃から活発となっている地震活動は、活動が始まった数日間や震度6弱を観測した頃と比べると、震度1以上を観測する地震の回数は減ってきているものの継続中



震央分布図

（2025年6月21日～7月28日09時00分、 $M \geq 2.5$ 、深さ0～50km）

- ※ 6月21日から地震解説資料第20号（7月25日09時）までの地震：青色、
- ※ 地震解説資料第20号（7月25日09時）以降の地震：赤色



領域a内の地震活動経過図及び回数積算図

- ※ 震源要素は後日、修正することがある。
- ※ 7月2日～22日及び7月27日以降の震源データは未精査を含む。
- ※ 7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 恵石島を使用している。

今回の地震活動付近（領域a）の1994年10月以降の主な地震活動については以下を参照。

- 気象庁報道発表資料（7月5日08時30分発表：<https://www.jma.go.jp/jma/press/2507/05a/kaisetsu202507050830.pdf>）の9ページ
- 福岡管区気象台報道発表資料（7月2日17時30分発表：https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/jikazan/kinkyu/J20250621_tokara_10.pdf）の8ページ